

NIHONJIN NO WASUREMONO 第2部 忘れもの 9

鎮守の森と日本人

対談



田中 恆清  
石清水八幡宮宮司

宗教観の根底にある自然への畏敬と感謝の念

信仰対象の鎮守の森は持続可能な林業のヒント

加地 伸行



立命館白川静記念東洋文字文化研究所長  
加地 伸行



楠木正成が建武元(1334)年に必勝祈願参拝の折に奉納したとされる、樹齢700年にせまるクスノキの御神木。京都府指定天然記念物(八幡市・石清水八幡宮)

加地 ●欧米の宗教学はキリスト教のよ  
うな一神教を最高位、多神教、シャ  
ーマニズムと続き、自然崇拜を下位に序  
列化し、明治以降、日本でも宗教学者  
や知識人は、そうした欧米の宗教学観  
を模倣しました。現在、日本人の多くは  
神社にもお寺にも参拝し、クリスマス  
を祝うことに矛盾を感じません。無宗  
教なだけではなく、多神教的な宗教意識  
が複数の信仰を受け入れやすくしてい  
るのでしよう。唯一絶対神を信仰する  
一神教では考えられません。  
終戦のとき私は国民学校3年生でし  
た。「一番はじめは一の宮」で始まる  
わらべ歌があります。私が覚えている  
歌詞では「二は日光東照宮、三番讃岐  
の金比羅山」と、十まで社寺の名前が  
続きます。興味深いのは「六つ村々鎮

守さま」という歌詞です。氏神が鎮座  
する鎮守の森が当時は身近な存在であ  
ったことがうかがえます。  
信仰の対象として大切に守り育まれ  
た鎮守の森は古くからの植物群落が良  
好に保たれ、自然資源として貴重なも  
の少なくありません。地域固有の植  
物種に配慮しながら資源を利用・保全  
する仕組みは、持続可能な林業を考  
えるヒントになるのではないでしょ  
うか。  
田中 ●鎮守の森は「鎮守の社」とも書  
きます。「社」という漢字は「社」と  
同様、神をまつる場所を表します。か  
つて共同体は、鎮守の森を中心に形成  
され、祭りを通じて地域の人々が集い  
交流することで、連帯感が醸成されて  
きた歴史があります。  
東日本大震災では神社  
も数多く被災し、地域  
共同体の核が失われま  
した。現在、神社本庁  
の後援で日本財団の全  
面支援を得て「鎮守の  
森復活プロジェクト」  
を進めています。  
神道は、「言挙げせ  
ず」、明言しないことを  
美徳としてきました。  
昔ながら黙っていても親  
から子へ自然に伝わっ  
た精神文化も、地域共  
同体の多くが崩壊し核  
家族化が進んだ現在、  
待っているだけでは受

日本人の自然観や精神性を支えてきた  
物事の道理のようなもの。海外では、  
神道の持つ普遍性に注目する人もいま  
す。今後は、日本の誇るべき精神文化  
を多くの人に紹介できるよう、世界に  
向けた情報発信も展開していく予定で  
す。

加地 ●近ごろ新聞を読んでみると、利  
己的な行動によって引き起こされた事  
件が目につきます。キリスト教文化圏  
では神への畏れが欲望のまま行動する  
ことを抑制します。戦後、日本の公教  
育は個人主義という思想だけ取り入れ  
背後にあるキリスト教については教え  
てきませんでした。同様のことは他の  
宗教にもいえます。唯一絶対神との契  
約の代わりに日本で行動規範となり抑  
止力となってきたのは祖先崇拜でした。  
今こそ、自然を畏れ祖先を敬う家族中  
心の共同体を見直すときではないでし  
ょうか。

戦後、日本人は物の豊かさと引き換えに  
大切なものを忘れてきたのではないであらう  
か。日本人が忘れつつある価値観が今も生  
き続ける千年の都・京都から温故知新の知  
恵を発信する。(毎週日曜日に掲載します)  
▼お問い合わせ

きょうの季寄せ(八月)  
禅寺の  
苔をついばむ  
小鳥かな  
虚子



秋になると種々の小鳥が渡って  
る。「木曾川の今こそ光れ 渡り鳥  
虚子」。色々と美しさを重ね合わせ  
て色鳥とも言う。  
掲げ句は、苔寺(西芳寺)に虚子  
が昭和4年に訪ねた折に詠んでいる。  
現在この句碑が同寺に建立されてい  
るが、平明な句意を寓意として読み  
解きたくなるのだが、果たして如何  
なものであろう。即物具象、眼前の  
景でよい。(文・岩城久治)

「きょうの心伝て」

風間 佳介  
(京都市右京区/70歳)

自分の国とは?  
「自国を帰属集団として重視する  
か?」という質問に対して「YES」と  
答えた人の割合が、日本はわずか  
29%だそう。  
そう言われれば居酒屋などで耳に  
する会話では、この教値を承認せざる  
をえないと思う時がある。自分が  
生まれた国の言葉、歴史、文化、風  
俗、習慣を受け入れて育ったのに、  
自国への帰属意識がこれほど低いと  
いうことは、思考の基点が定まるべ  
くもなく、自らの言動の「根っこ」が  
浮いてしまっているというのでは  
ないかと思う。  
すでに一線を退いた老翁臨士ゆえ、  
時代を見つめ続ける以外に手立ても  
ないが、この奇様な成熟社会(?)の  
底知れぬ寒々しさの中で、抑えよう  
のない心委えが胸に残る。  
老翁としては「根っこ」を失った  
まま、したり顔で国を忘れた者に、  
せめてその都度きちんと抗ってみせ  
ることで、自らの証しを立てていき  
たいと思う。

「きょうの心伝て」募集  
●あなたの思う「日本人の忘れもの」は何  
ですか?暮らしの中で忘れてはならないと  
思う日本人の心の承諾や、伝えたい京都市  
に残る心遣いなどを寄せてください。京都市  
社で選考、活用する場合があります。原稿  
は返却いたしません。タイトル(12文字以  
内)と本文(400文字以内)、郵便番号、  
住所、氏名(匿名は不可)、職業、年齢、電  
話番号を明記し、〒604-8577 京都  
新聞COM「きょうの心伝て」係まで。  
E-mail: asakurano@nhkkyoto-np.co.jp  
FAX: 075-222-1220  
●日本人の忘れものは、京都新聞ホームページ  
http://kyoto-np.jp/kyo\_nm/info/new/で  
応募いただけます。

医療法人 知音会

医療法人知音会は「よりよい医療の創造」を基本理念に  
京都と大阪で3か所のクリニックを開設。テクノロジーと  
ホスピタリティを融合した質の高い人間ドックを提供しています。  
病気の予防と早期発見、健康の維持・向上のため  
年に1回は人間ドックを受けられるようお勧めいたします。



■御池クリニック  
京都市中京区西ノ京下町11  
高津プラザ  
TEL.075-823-3000  
地下鉄東西線「西大路御池駅」3番出口すぐ  
40台無料駐車場あり



■中之島クリニック  
大阪市福島区福島2丁目1-2  
TEL.06-6451-6100  
京阪中之島線「中之島駅」から徒歩3分  
JR東西線「新福島駅」  
阪神電車「福島駅」から徒歩5分



■四条烏丸クリニック  
京都市中京区手洗水町652  
烏丸ハイメディックコート7階  
TEL.075-241-3577  
阪急京都線「烏丸駅」、  
地下鉄烏丸線「四條駅」21番出口徒歩3分

予防医学がひらく未来。

